

カブドットコム証券株式会社
 (コード番号：8703 東証1部)
 代表執行役社長 齋藤 正勝

2003年1月9日

リスク管理追求型 オプション取引の開始

～ 業界最低の手数料[0.8%]、オプションボード・フラッシュ、条件注文 ～

カブドットコム証券株式会社は、リスク管理に優れた「株価指数オプション取引（日経平均オプション・大証）」を今春より開始いたします。オプション取引の手数料体系は業界最低の「約定代金の0.8%（最低800円から）」。さらに、逆指値等の条件注文はもちろん、リアルタイム価格情報を自動更新する「オプションボード・フラッシュ」等の情報サービスを拡充し、買い建てだけでなく売り建ても受け付けます。これらにより、個人投資家の皆様にとっては「オプション革命」と呼ぶに相応しい進化となります。

■リスク管理追求型 オプション取引の概要

取扱商品 : 日経平均オプション [[大阪証券取引所](#)]
 取扱注文 : 買い建て、売り建て
 注文受付時間 : 24時間
 執行条件等 : 指値、成行、寄付、引け、不出来引成、逆指値、W指値、±指値、Uターン注文、リレー注文、原資産価格を条件に設定する注文

■主な特徴

(1) 業界最低の手数料

オプション取引手数料：約定代金の0.8%（最低手数料は800円）。

他社比較	カブドットコム	A社	B社	C社	D社
手数料率	0.8%	1.8%	1.5%	1.0%	1.0%
最低手数料	800円	3000円	2500円	2500円	1000円

(2) リスク管理に役立つ条件注文

オプション取引でももちろん[逆指値](#)・[W指値](#)・[±指値](#)などの条件注文が可能です。「[リスク管理追求型 信用取引](#)」でもその効果が実証された発注機能が、オプション取引においてもご利用いただけます。また、「日経平均が9000円以上になれば」といった原資産（日経平均株価）を条件に設定した注文も可能です。カブドットコム証券の条件注文は、機動的にシステムチックに運用を行いたいという投資家はもちろん、立会時間中は仕事等で相場が見られない投資家にも非常に役立ちますので、オプション取引における時間的な制約というハードルをも引き下げることにつながります。

(3) 買い建て、売り建て

現在、ネットでオプション取引を提供している証券会社のほとんどが、買い建てのみと

なっておりますが、カブドットコム証券では売り建ても可能とします。これによりオプション取引の幅広い投資戦略を最大限にご活用いただけることとなります。また、売り建て時に必要となる委託証拠金の計算方法はスパン証拠金方式を採用いたします。

(4) オプションボード、オプションボード・フラッシュ

これまで個人投資家にとってオプション取引のハードルを高くしていた要因の一つに、情報サービスの不足があります。ハイリスクハイリターンで価格変動が激しいオプション取引において、リアルタイムで得られる情報の不足は致命傷と言っても過言ではありません。そこでカブドットコム証券は、これまで株式でご好評いただいております「[カブボード](#)／[カブボード・フラッシュ](#)」のオプション取引版を、オプション取引を行うお客様に提供いたします。これにより、オプション取引を個人投資家が行う上での長年のネックが解消されることとなります。

(5) [自動通知サービス](#)

電話・携帯電話・E-mailにリアルタイムで気になる銘柄の価格動向等をお知らせする「[カブコール](#)®」や、約定結果、期日、建て玉状況、入金状況などを同様に通知する「自動通知サービス」の、オプション取引バージョンも提供いたします。オプション価格はもちろん、オプション取引に関する様々な状況を通知するサービスを提供して参ります。これにより、刻一刻と変化するオプション取引の動向を容易にキャッチすることが可能です。

(6) [SLA（サービス品質保証制度）](#) 対応

株式注文の取引所等への取次時間が5分を超えて遅延しないことを保証し、万一、遅延した場合は差額を返却する「[SLA（サービス品質保証制度）](#)」を、オプション取引も対象といたします。これにより、カブドットコム証券のお客様はオプション取引でも、障害発生時などにおいても不利益を被ることが無く、安心して売買注文を発注していただけます。

オプション取引は、これまでリスクの高さばかりがクローズアップされることが多く、さらに情報サービスの不足や、株式と比べての手数料の高さなどから、個人投資家の皆様にとってハードルが高い取引となっていました。しかしながら、昨今の様な市場低迷時にこそ、柔軟性に富んだ資産運用を行う上で役立つオプション取引のような商品の提供が欠かせません。カブドットコム証券では、条件注文等によるオプション取引そのもののリスク管理を行った上で、[オプション取引での様々なポジション戦略](#)を活用することにより、資産運用全体のリスク管理やポジション調整を可能とするべくサービスを提供して参ります。

■スケジュール予定

2003年3月 5日（水）	申込受付開始
2003年3月10日 （月）	電話面接開始
2003年3月14日 （金）	口座開設処理開始
2003年3月14日 （金）	オプションボード ・ オプションボードフラッシュ 等サービス開始
2003年4月1日（火）	証拠金振替開始
2003年4月3日（木）	カブコール（指数オプション版） 開始
2003年4月16日 （水）	サービス開始

<リスク管理追求型 オプション取引による「オプション革命」について>

■市況低迷期こそ、幅広い投資戦略を

2000年の春以降、ほぼ一本調子で下落を続ける株式市場でリターンを得るには、ただ上がる銘柄を探すだけでは困難を極めます。右肩上がりの相場であれば、多少のタイミングの失敗はあっても待っていれば利益となるので、現物で株式を保有するだけでも充分でした。しかし、下落トレンドの相場や横ばいの相場では、リスクヘッジや相場展開に応じた投資戦略の重要性が増します。オンライン取引で信用取引が一般化したのも、下落相場を信用取引の売りで乗り切ろうとするそんな相場要因も大きかったはず

です。実際、弊社の信用取引をご利用いただいているお客様に実施したアンケートでも、81%のお客様が信用取引での売り（カラ売り・ツナギ売り）のご経験がありました。この結果は、下落する株式市場で儲けよう、持株のリスクヘッジをしよう、という当然のニーズを表したものと言えるでしょう。

■持株の対処にも役立つオプション取引

オプション取引はさらに多様な投資戦略を可能とします。単純に上がれば儲かる、下がれば儲かる、という運用から、リスクヘッジはもちろん、膠着相場で利益を得たり、宝くじのように当たる確率は低いが大当たれば大きい買い方や、オプションの売りで得たプレミアムを活用する、などあらゆる相場展開において様々な投資戦略をとることが出来ます。これは現物株や信用取引と比べた場合の大きなメリットなのです。

市況低迷期ゆえに、証券会社も株式以外の商品やサービスで利益を得ようとしています。個人投資家の皆様にとっては市況低迷での持株の対処こそもっとも重要なはず。目減りする持株の評価額をよそに、その対処に役立たなかったり効果の小さい商品やサービスでは、お客様にとって本当に役立つものではありません。カブドットコム証券では、株式デリバティブ（派生商品）こそ持株の対処にもっとも適した商品であると考え、「リスク管理追求型 信用取引」に続き、「リスク管理追求型 オプション取引」をご提供させていただくこととしました。

■「オプション革命」

しかしながら、これまで個人投資家の皆様にとってオプション取引は決して馴染み深いものではありませんでした。株式と比べて高い手数料、リアルタイム情報の少なさや入手の困難さ、理論の難しさ、取引開始におけるハードルの高さ、売り建てが出来ず買い建てのみ、などただでさえ取っ付きにくいオプション取引を個人投資家の皆様から遠く離れたところに追いやっていたのです。これでは証券会社の努力不足と言われても返す言葉がありません。

そんなオプション取引をより多くの個人投資家の皆様にご利用いただけるよう、カブドットコム証券では「オプション革命」と呼ぶに相応しいサービスを展開して参ります。業界最安値の手数料（約定代金の0.8%、最低800円から）、逆指値などの条件注文、無料でのリアルタイム情報、通知サービス、SLA（サービス品質保証制度）、などこれまでから飛躍的に進化したオプション取引をご提供します。

■リスク

オプション取引は買い建ての場合は投資資金の全額を失ってしまう可能性がありますし、売り建ての場合は理論上無限大のリスクを負うこととなります。安易に行えば大きな痛手を被ってしまいます。それだけにしっかりとリスク管理を行うことが何よりも大切です。実際にオプション取引を行われる際には、予測や戦略以上にリスク管理に気を配っていただきたいと思います。しかしながら、リスクの高い商品でリスク管理を行うことを学べば、株式など他の商品を運用する際にも大いに役立つはずで
す。カブドットコム証券では逆指値をはじめとする条件注文でのロスカットや、通知サービスや情報サービスの充実によって、リスク管理にお役立ていただけるサービスをご提供
します。カブドットコム証券ではこれを「リスク管理追求型 オプション取引」と呼ん
でいますが、それは単なるサービスの提供だけではないという意味と共に、敢えてこの
ように呼ぶことによってお客様にリスク管理を意識した投資を行っていただきたいから
なのです。

「リスク管理追求型 オプション取引」を充実させていくことにより、個人投資家の皆様にと
っての「オプション革命」を推し進めて参ります。ご期待ください。